

令和7年度 館蔵資料展

「誕生・結婚・死の儀礼ー人生の始まり方 終い方^{しま}ー」開催途中報告

1 開催概要

名 称：令和7年度 館蔵資料展「誕生・結婚・死の儀礼ー人生の始まり方 終い方^{しま}ー」
会 場：松戸市立博物館 企画展示室
会 期：令和7年9月20日（土）～11月3日（月・祝） 39日間
観覧料：無料
観覧者数：4,470人（令和7年10月31日現在）

2 展示内容

本展覧会は、人が誕生し、成人となり結婚し、老い、死を迎え、先祖にまつられるまでの人生における様々な儀礼に関する民俗資料を展示する。人の一生に関わる数々の儀礼を通し、地域社会で培われていた人生の姿を伝える。また、現在行われている結婚式や成人式などの様子も紹介する。

3 展示構成と展示資料

- I 誕生の儀礼 子どもの誕生・成長に伴う安産祈願、出産、宮参り、初節供、年祝いなどの誕生の儀礼に関する民俗資料を展示。
- II 結婚の儀礼 結婚の際に伴う、結納、祝言などの結婚の儀礼に関する民俗資料を展示。
- III 死の儀礼 人が年老いて死を迎えてから行われる死の儀礼・葬送の民俗資料を展示。
- IV 現代の儀礼 現在行われている結婚式や成人式の様子について紹介。

4 関連行事

（1）講演会

①学芸員講演会 「死者の『魂』の行方」

日時／10月12日（日）13:00～15:00 講師／青木俊也 会場／博物館講堂 参加者／71名

【講演会アンケート結果】

「いのち」「魂」の考え方や、人の一生をめぐる儀礼・習俗の意味を理解できたという感想が多かった。また、「祖母や母から聞いた昔話を思い出した」等、個人の記憶と照らし合わせて聴講する参加者も多かった。

②歴史を語る「人生儀礼の世界」

日時／10月25日（土）13:00～15:00 講師／長沢利明氏（元法政大学講師） 会場／博物館講堂
参加者／44人

(2) ワークショップ 「お葬式の饅頭を作ろう！」

新松戸市民センターにおいて、葬式饅頭を作るワークショップを行い、その後博物館で担当学芸員による展示解説会を行った。

日時／令和7年10月26日（日）12:30～17:00 講師／竹内三代治氏（大正堂・和菓子職人）

会場／新松戸市民センター・松戸市立博物館 参加者：14名

(3) 土曜解説会

担当学芸員が会期中の土曜日（13:30～14:15）に展示解説を行った。

【土曜解説会参加人数】

開催日	9月20日	9月27日	10月4日	10月11日	10月18日	11月1日	合計
参加人数	11人	15人	10人	14人	21人	21人	92人

5 印刷物

(1) チラシ (2) ポスター

(3) リーフレット

→子どもたちにも人生儀礼について興味を持ってもらえるように、オリジナルキャラクターによるマンガ仕立てで展示内容を解説するリーフレットを作成した。

6 展示方法について

- ・展示室内の各コーナーをバナーで示すことにより、来場者の視認性を高めた。
- ・展示資料ネームプレートの作成については、令和6年度博学連携展示における利用者調査の結果をもとに、解説文の文字の大きさ（22p）に決め、文字数を200字以下に減らした。

7 利用者の感想

【展覧会アンケート結果】

- ・地元の資料を沢山集め、わかりやすくまとめていたので、この地域の独自性もよくわかりました。
- ・各儀礼の松戸市内で行われている写真があり、わかりやすかった。
- ・産育儀礼などは、展示や説明をするのが難しいテーマであると思われましたが、写真や模型などによるわかりやすい展示であり、それにくわえて現代の儀礼についても展示しているのが良かったです。
- ・移住してくる人が多い街だと思うので、松戸の地に根ざした内容でとても良かったです。

8 その他

会期中、オリジナルグッズとして当館初となるお菓子を限定販売しました。展示テーマ「誕生・結婚・死」に因んだ人生に係る格言付き焼菓子と豆菓子、同じく、格言くじ付きオリジナルサブレ（何が出るかは開けてのお楽しみ）を販売し、好評を得ました。